

基本テーマ

「緑化の推進における外来植物の取り扱い」

平成16年に、特定外来生物の飼育、輸入等について必要な規制を行うとともに、野外等に存する特定外来生物の防除を行うこと等により、特定外来生物による生態系、人の生命若しくは身体又は農林水産業に係る被害を防止することを目的として「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」が制定され、現在特定外来生物の指定が進行しているところである。

公園・緑化等の公共事業では、都市域や荒廃地等の植物にとって劣悪な環境への緑化対応が容易に図れる緑化材料として従来から外来植物が活用されてきた。特に工事法面等の早期緑化を図るため外来緑化植物が緑化材料として多用されてきた。また、これらとは別に近年では、景観的な配慮等から在来植物も様々な形で利用されてきているが、これらに関しても外国で生産したものや国内の他の産地から持ち込まれたものである場合、地域個体群レベルでの遺伝的多様性を損なう恐れが指摘されている。

本シンポジウムにおいては、このような外来緑化植物を取り巻く状況を勘案して、環境省・農林水産省・国土交通省の三省の合同により検討の行われた「外来生物による被害の防止等に配慮した緑化植物取扱方針検討調査」の報告を行うとともに、今日多様な機能が求められている緑化植物への社会的要請に応じる観点から「外来緑化植物の適正な活用と地域性系統種等の利用について」議論を試みるものである。

多数の皆様の議論へのご参加をいただきたく、ここにご案内申し上げます。

2006年10月19日

財団法人 日本緑化センター  
会長 上島重二

**第29回都市環境緑化推進研究会**  
**「緑化の推進における外来植物の取り扱い」**

日時：平成18年10月19日（木）

場所：三会堂ビル9階石垣記念ホール

---

開会挨拶 財団法人日本緑化センター 13:00～13:05  
常務理事 前田 博

来賓挨拶 国土交通省 都市・地域整備局 公園緑地課 13:05～13:15  
緑地環境推進室長 角南 勇二

基調講演 緑化の推進と外来植物 13:15～14:00  
東京農工大学 農学部 地域生態システム学科  
教授 亀山 章

---

休憩 14:00～14:15

---

パネルディスカッション 14:15～16:55

テーマ：緑化の推進における外来植物の望ましい取り扱いの方向

コーディネーター：東京農工大学 農学部 地域生態システム学科

教授 亀山 章

パネリスト：京都大学 大学院 地球環境学堂

教授 森本 幸裕

：千葉大学 園芸学部 緑地・環境学科

助教授 小林 達明

：中野緑化工技術研究所

所長 中野 裕司

：環境省 自然環境局 野生生物課 外来生物対策室

移入生物専門官 長田 啓

：国土交通省 都市・地域整備局 公園緑地課 緑地環境推進室

課長補佐 加藤 順子

閉会挨拶 (財)日本緑化センター 16:55～17:00  
緑化計画部主幹 山田 和司

---

\*講師・講演名については当日一部変更することもあります。ご承知おきください。